

2024 プロ野球12球団選手名鑑

首脳陣

1軍		
監督	新井 貴浩	25
ヘッドコーチ	藤井 彰人	77
内野守備・走塁コーチ	三好 匠	90
外野守備・走塁コーチ	赤松 真人	80
打撃コーチ	朝山 東洋	83
	小窪 哲也	89
投手コーチ	菊地原 毅	86
	永川 勝浩	74
バッテリーコーチ	石原 慶幸	81

2軍

監督	高 信二	71
内野守備・走塁コーチ	東出 輝裕	72
外野守備・走塁コーチ	廣瀬 純	75
打撃・走塁コーチ	福地 寿樹	85
打撃コーチ	新井 良太	84
投手コーチ	高橋 建	87
	横山 竜士	82
バッテリーコーチ	倉 義和	76

3軍

統括コーチ・矯正担当	畝 龍実	78
投手コーチ・育成強化担当	小林 幹英	73
野手総合コーチ	迎 祐一郎	91

野球太郎のお勧めオーダー

お勧めオーダー	予想先発	
1 CF 秋山※	.274	大瀬良 3.61
2 2B 菊池	.258	森下 3.01
3 SS 小園※	.286	九里 2.53
4 3B シャイナー.252(AAA)		床田※ 2.19
5 1B 堂林	.273	ハッチ4.03(MLB・ハイレーズ)
6 C 坂倉※	.266	遠藤 4.39
7 LF 末包	.273	常廣 D1位
8 RF 野間※	.286	
主なリリーフ		
主な控え野手		島内 2.31
C 倉澤	.172	矢崎 2.81
IF 田中※	.228	大道 2.72
IF 矢野※	.185	中崎 2.73
IF 上本	.259	ハーン※ 8.22(MLB・ロイヤルズ)
IF レイノルズ.200(MLB)		戸根※ 4.64
IF 羽月※	.149	ケムナ 3.71
OF 松山※	.252	栗林=抑え 2.92

矢野雅哉は昨季チーム最多83試合で遊撃に就いた。新加入のレイノルズは二塁、三塁、遊撃をこなす。上本崇司は代打で15打数7安打2打点、打率.467。松山竜平は代打で50打数19安打21打点、打率.380。先発は左の森翔平、玉村昇悟も候補に挙がる。

※=打者は左打、投手は左投、◎=両打者の記録は打率、投手は防御率です。

FAでオリックスに移籍した。オフには新外国人のレイノルズ、シャイナーを獲得したが、いずれも内野手で、昨年の両助っ人と入れ替えた形。同じ外野手としては、末包昇大、中村貴浩、田村俊介らの競争となりそうだ。

投手陣も昨年までの助っ人が入れ替わる形となり、先発候補のハッチ、中継ぎ候補で左腕のハーンが新加入。両投手ともメジャー経験があり、ハーンは5年通算で101試合に登板している。

新人ではドラフト1位右腕、常廣羽也斗に即戦力の期待がかかる。150キロ前後の速球とフォークが武器の先発候補だ。

投手陣

大瀬良大地、森下暢仁、九里亜蓮、床田寛樹の四本柱が確立し、今季も健在の先発陣。昨季6勝の大瀬良は右肘手術明けとなるが、今キャンプは一軍で始動した。問題は五番手以降で、メジャー通算4年で39試合、昨季18試合登板のハッチは有力候補。若手では遠藤淳志、左の森翔平、玉村翔吾、新人では常廣が候補に挙がる。

救援陣は昨季、抑えの栗林良吏が故障もあって不安定。そのなかで矢崎拓也が代役を担い、セットアッパーの島内颯太郎が最優秀中継ぎ投手を獲得したのは収穫。さ

野手陣

昨季はチーム盗塁数がリーグ2位。伝統の機動力野球が復活しつつあったが、新打線のテーマは破壊力向上。その点、シャイナーは昨季3Aで打率・252、30本塁

らには大道温貴の成長、中崎翔太の復調もあり、左はハーンの働きが期待される。栗林が本来の投球を取り戻せば、充実の布陣だ。

捕手は坂倉将吾が専念した中、先発は102試合、會澤翼が42試合に出場し、まだベテランの技量が必要だった。打力が高い坂倉はフルに近い出場が求められるだけに、リード面の向上が課題だ。

打、105打点。レイノルズは3Aで打率・266、22本塁打、90打点。いずれも順応できれば中軸に置きたいが、5番・一塁で昨季12本塁打の堂林翔太をお勧めしたい。そのうえで3番には打力が伸びた小園海斗、4番に三塁が本職のシャイナーを置く。1、2番は両ベテランの秋山翔吾、菊池涼介で、下位では7番に昨季11本塁打の末包を置ければベストだ。

守備面はリーグ5位の82失策。内野は固定できなかった遊撃が課題で、今季は小園がどこまで安定するか。外野は西川が抜けて再編されるが、中堅・秋山、右翼・野間峻祥、左翼・末包で無難だ。

阪神タイガース

広島東洋カープ

横浜DeNAベイスターズ

読売ジャイアンツ

東京ヤクルトスワローズ

中日ドラゴンズ